

環境憲章と環境基本方針

「創造 貢献」の経営理念を踏まえ、
具体的なルール・目標を定めて環境経営を推進します。

カシオは「創造 貢献」の経営理念を創造的に実践していくために定めた「カシオ創造憲章」において、社会貢献、環境保全、情報開示、ステークホルダーとのコミュニケーションといった環境経営実践の仕組みを提示しています。

この「カシオ創造憲章」や「カシオ行動指針」、「カシオ倫理行動規範」の理念・考え方は、1993年1月に制定された「カシオ環境憲章」と「環境基本方針」においても同様です。

これら憲章・方針に基づき、具体的な環境保全活動を実践するために定められたのが、「カシオ環境ボランティアプラン」であり、このなかで、目的、環境保全テーマ、具体的施策、目標値、実施部門、監査部門など具体的な環境保全実施項目を定めて「環境保全ルール」としています。

さらに、このルールから具体的な数値目標と実行期限を明確化した「カシオグループ環境行動目標「クリーン&グリーン21」」を制定して、グループ全体の中長期行動計画を開示し、計画達成に向けて推進しています。

カシオ環境憲章

カシオは地球環境保全のためにカシオグループ全体の事業領域に亘り、企業の環境責任の重要性を認識し、広く国際社会という視点で世界の繁栄と人類の幸福のために貢献すべく基本方針を定め、具体的施策を掲げ、実行に努める。

環境基本方針

- ①国内、海外の環境関連法律、協定、基準を遵守する。
- ②製品の開発、設計、製造、流通、修理サービス、回収・廃棄の各段階において環境への配慮を踏まえた自主的な「カシオ環境保全ルール」※を定める。カシオグループ全事業部門は責任を持って実行するとともに、その遵守度を監査し継続的な改善をはかる。
- ③企業の社会的責任という立場で良き企業市民としてカシオグループ全員が地球環境保全の重要性を認識し、意識高揚をはかる。
- ④本方針は、国内、海外のカシオグループ全事業部門に適用する。

※「カシオ環境保全ルール」は「カシオ環境ボランティアプラン」に定める具体的な環境保全実施項目です。

カシオ環境ボランティアプラン

「カシオ環境ボランティアプラン」は、カシオグループが定めた「カシオ環境憲章」と「環境基本方針」に基づいて環境保全活動を推進していくために、カシオ環境保全委員会が1993年1月に策定したものです。

このプランは開発、設計、回収・リサイクル、SCM、グリーン調達、グリーン購入、包装、物流、営業、再生、製造、環境マネジメントシステム、環境会計、オフィス環境・事業所環境、立地、従業員教育、海外事業、情報支援・IR・コミュニケーション・CSRおよび社会貢献の19分野で構成されている行動指針です。社会状況や活動の進捗に応じて、定期的に改訂を行っており、2005年2月には第9版の改訂を行っています。

カシオ環境行動目標「クリーン&グリーン21」

→P32

カシオ環境行動目標「クリーン&グリーン21」は、「カシオ環境ボランティアプラン」で定めた「環境保全ルール」を具体的に数値化し、実行期限（短期・長期目標）を定めたものです。

1996年6月に制定されて以降、定期的に改訂を行い、2005年6月現在で第8版となっています。なお、「クリーン&グリーン21」の改訂にあたっては、まずカシオ環境ボランティアプランと環境保全ルールが改訂され、その変更内容を反映する形で改訂されます。

カシオ環境行動計画の推進